

平成23年度当初予算 施策別概要

222 農業の持続的な発展を支える農業構造の確立

(主担当部：農水商工部)

22201	地域農業の安定的システムの確立	(農水商工部)
22202	多様な農業経営体の確保・育成	(農水商工部)
22203	生産・経営支援機能の充実	(農水商工部)
22204	農業生産基盤の整備	(農水商工部)
22205	優良農地の確保	(農水商工部)
22206	農業を支える技術開発の推進	(農水商工部)
22207	畜産業を支える技術開発の推進	(農水商工部)

< 施策の目的 >

(対象) 意欲ある農業者が

(意図) 経営感覚をもって農業経営の発展に取り組んでいる

< 現状と課題 >

- ・ 三重県は、温暖な気候、南北に延びる細長い地形、海と山に囲まれた多様な自然の中で、京阪神、中京等の大消費地が近いという地理的条件のもと、多様な農業が営まれてきました。一方、県内には中規模都市が点在しており、他産業への就業機会にも恵まれていることから、農家の兼業化が進んでいます。
- ・ 若者の流出や農業従事者の高齢化もあり、農村では農業の担い手不足が深刻になるとともに、ライフスタイルの変化や国際化の進展などの影響を受け、農産物価格の低迷が続いています。
- ・ 県民が安全・安心な食を安定的に享受できるとともに、農業に魅力を感じ、自らの職業として選択し、意欲的に農業経営に取り組むことができる環境を確立していくためには、関係機関が相互に連携した経営支援体制の整備や集落等の地域を単位として農地の利用調整を行い、意欲ある農業経営体に委ねていくしくみの構築、環境と調和した効率的で高度な生産基盤の整備が必要となっています。

< 平成23年度の取組方向 >

集落や産地等による地域経営の実践や地域単位の持続的かつ安定的な営農のしくみづくりに向け、普及活動等の効果的な展開、集落営農組織等の設立や適切な運営、法人化の取組等への支援を行います。

意欲ある多様な農業経営体の育成をはかるため、国の戸別所得補償制度等を効果的に活用し、経営の安定・発展のための支援を行います。また、新たな経営体等の確保・育成をはかるため、農業大学の研修カリキュラムの充実や、財団法人三重県農林水産支援センター等と連携して新規就農希望者や新規参入企業、障がい者等への就農支援や技術指導等を行います。

農業生産力の強化に向けて、環境と調和した生産や低コスト化、高度化に対応できる農業生産基盤の整備を進めるとともに、頭首工や水路などの農業用施設の機能維持のための取組を促進します。

優良な農地の維持・保全や有効利用を促進するとともに、耕作放棄地の解消や未然防止対策を進めます。

消費者や農畜産業者等のニーズへの的確な対応と開発技術の早期実用化に向け、農畜産物の安定生産技術のほか、低コスト化や高品質化、商品化に向けた技術の開発を、産学官連携による研究クラスターの形成により効率的に進めます。

<主な事業>

農業経営体育成普及事業【基本事業名：22203 生産・経営支援機能の充実】

(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 3 農業改良普及費)

予算額：(22) 58,828千円 (23) 58,828千円

事業概要：普及指導員を農業改良普及センターに配置し、意欲ある多様な農業経営体の育成、集落営農など持続的かつ安定的な営農のしくみづくり、産地の育成等に取り組みます。(普及指導員による支援活動等)

新たな農業の担い手発掘事業【基本事業名：22202 多様な農業経営体の確保・育成】

(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 13 農林漁業経営体育成費)

予算額：(22) 35,000千円 (23) 40,968千円

事業概要：新たな農業の担い手を確保するため、新規就農者や参入希望企業の受入体制の整備や生産技術等に関する支援を行うとともに、障がい者等の就農を促進するため、農作業体験機会の提供や農業経営体、福祉事業者のニーズ把握等を行います。(参入支援コーディネーター設置、農業就業・就職相談会、障がい者への農作業体験機会提供等)

高度水利機能確保基盤整備事業【基本事業名：22204 農業生産基盤の整備】

(第6款 農林水産業費 第3項 農地費 2 土地改良費)

予算額：(22) 651,981千円 (23) 1,155,941千円

事業概要：競争力を高めるための経営の大規模化や農産物の高品質化、多品目生産等に必要となる水管理の省力化・高度化が可能となる水管理の自動化など高度な水利機能を有する生産基盤の整備を促進します。

農地調整費【基本事業名：22205 優良農地の確保】

(第6款 農林水産業費 第3項 農地費 6 農地調整費)

予算額：(22) 4,234千円 (23) 4,395千円

事業概要：優良農地を確保するため、農地に関する許可、民事調停等を実施することにより農地法の適正な運用をはかるとともに、農業振興地域の整備に関する法律に基づき農業振興地域を保全するため、市町農業振興地域整備計画の適正な管理について支援します。
(農地転用許可現地確認等)

食の新産業クラスター事業【基本事業名：22206 農業を支える技術開発の推進】

(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 14 農業試験研究費)

予算額：(22) 7,300千円 (23) 5,126千円

事業概要：地域の産学官の技術者に加え、物流、販売などに携わる人材が連携し、イチゴ「かおり野」や伊勢茶などを利用した特徴ある新商品の開発を行うと同時に生産・加工・販売システムの構築をはかり、食材生産、商品生産が一体となった地域密着型新産業の育成につなげます。(植物工場、高齢社会対応医療食、新しい喫茶文化、イチゴ新品種「かおり野」をテーマとしたクラスターによる技術開発)